

今日のテーマ「低学年の体育指導のポイントあれこれ」

1. 体育指導の見直しを！

- ・多くの教師は、自分が子ども時代に「教えられたように教える」傾向がある。特に体育はその傾向が強い。例えば、まず並ばせる。ラジオ体操をして始める。一つのボールでドッジボールやサッカー。前転は手を肩幅に開き、マットに頭の後ろをつけて回ると教える。
「位置について」で腕を構え「よーい」で腕を入れ替え「ドン」・・・等々
- ・体育が好き！という子が次第に体育嫌いになっていくのは、「運動が苦手」だからではない。教師の指導が悪いからだ。体育嫌いは教師がつくっている。

2. 魅力ある体育学習にするための4条件

- ①魅力ある環境がある。 「おもしろそうだ、やってみたいな」 目がキラキラ
- ②自分の発想が生かせる。 「これならボクにもできそうだ」 心がワクワク
- ③仲間と一緒にできる。 「一緒にできて楽しそう」 仲間とルンルン
- ④時間が十分にある。 「思う存分できるぞ」 カがグングン

3. 指導のポイントあれこれ

- ・どの子ども入口が見つけられる環境を設定する。 変身広場 くものすランド 忍者ごっこ
- ・一つの技を全員に教え込もうとしない。前転の仕方は何通りもある。動きは違うもの。
- ・どの子ども発想が生かせる助言をあたえる。 目がクルクルする動きを考えよう 息がハァーハァーする動きを考えよう ドキドキヒヤッとする動きを考えよう
- ・何でもまず、自分で考える習慣をつける。 指示待ちの授業から、自ら動く授業へ
- ・自由にするが放任ではない。一斉指導から巡回指導に！ そして子どもの心と体に触れる
- ・ほめ上手になるためには、とにかく子どものそばに行くこと。
- ・動きを広げるためには、友だちの動きの紹介し刺激をあたえる。もっと続けて・・・反対は・・・
- ・見本は上手な子ではなく、下手でも頑張っている子の姿を見せる。
- ・納得するまで動かせてみる。また、動かない子も動くまで根気強く待つてやる
- ・低学年では、集合は多く、話は短く。 集合は並べるよりかためる（80度集める）
- ・体育は仲間づくりの絶好の機会。 グループ活動の場を生かす。 3人組活動
- ・一番弱い子が生き生き活動しているかが、授業評価のポイント
- ・見学者も必ず学習に参加させる。
- ・競走より協同の心を育てる。 ただし競走をないがしろにするのではない
- ・準備と後片付けは、大切な学習である。必ず自分たちでさせる
- ・順番を待つ時間が少なくなる工夫をする。場の設定の工夫やボールは一人一個は当たり前。
- ・できなくてもあきらめない態度の育成。 「出来ない」のじゃなく「やらない」のだ
- ・教師は一人ひとりの記録をとる。 タンブリンの裏に用紙をつける。
- ・授業のあとは作文を書かす。 反省というより、先生に言いたいことを書かす
- ・着替えも大切な学習。服をたたむ、靴を揃える等きっちり指導する。
- ・体育の時間から生活の中に広げていく。

4. 低学年の体育指導の落とし穴（生活科や総合にも共通する落とし穴が・・・）

・「楽しくやっていたら自然に力がついていた」そんな体育学習を目指したい。

しかし、子どもが楽しそうにやっているだけで満足してはダメ。力をつけなくては何にもならない。だから巡回指導を繰り返して、子どもに刺激を与えるのだ。連続で回れるかな？反対回りはできるかな？このリズムはどう？あの子の動きの真似はできるかな？次はどんなことに挑戦するの？等々 動きを広げる助言を必ずする。

「みんな楽しそう」と全体的に見ていると個を見落としてしまう。「あの子」「この子」をしっかりと見る目を養うことが大切。記録をとること。

5. 1学年の体育指導の例

1年B組仲島学級の1年間 ミニミニ遠足から始まって、忍者ごっこへの発展

6. 若手教師「10分間実践発表」

西宮・広田小学校 桔梗友行先生

※ 発表者の募集をしています。発表して力をつけましょう。

※ 今後の元気塾の予定

5月20日（土）10:00～12:00 若竹公民館

・給食指導で学級づくり・遠足や自然学校で子どもを育てる・家庭訪問で子どもを生かす

6月17日（土）10:00～12:00 若竹公民館講堂（運動の出来る服装で）

・低学年の体育指導について 実技を通しての研修

7月15日（土）10:00～12:00 若竹公民館

・子ども理解の方法

8月19日（土）9:00～17:00 兵庫県民会館 夏季セミナー

・絵本で子どもを育てる（講師：西宮・広田小 曲里由喜子先生）

・ディズニーそして・・・（講師：元小学校長 大路 亨先生）

・教師力を磨く～若手教師が伸びる10のすすめ～（講師：仲島正教）

9月16日（土）10:00～12:00 若竹公民館

・学校園における人権教育の考え方、進め方

10月21日（土）10:00～12:00

・研究授業のすすめ、指導案の書き方